

# 2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

## 事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び

II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成

III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築

IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成

V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

学校名【豊田市立市木小学校】

1 実践テーマ	【I、III、V】
2 実施対象者	市木小学校全校児童（436名）
3 展開の形式	<p>（1）学校における活動</p> <p>① 教科名（総合的な学習・音楽・体育）</p> <p>② 行事名（車いすバスケットボール教室、オリンピックに学ぶ会、学芸会）</p> <p>③ その他（ ）</p> <p>（2）地域における活動</p> <p>① イベント名（ ）</p> <p>② その他（ ）</p>
4 目標 （ねらい）	<p>○オリンピック・パラリンピックについて知り、関心を高める。</p> <p>○様々なスポーツに対する興味関心を高め、スポーツを楽しむ心を育てる。</p> <p>○オリンピック・パラリンピックを通して日本と世界に目を向け、国際理解を深める。</p>
5 取組内容	<p>（1）①</p> <p><u>3年生：総合的な学習の時間</u></p> <p>「オリンピック・パラリンピック調査隊」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各自でテーマを決めて調べ学習をした。</li> <li>・調べたことをレポートにまとめ、学年内で発表し、レポートを展示して他学年の児童や保護者にも見ていただいた。</li> <li>・オリンピックと触れ合った感想をもとに、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、自分たちにできることを考えた。</li> <li>・自分たちにできることとして、オリンピックやパラリンピックについてさらに詳しく調べて、1・2年生に発表することになり、調べ学習を継続している。2月に、1・2年生に聞いてもらう場を設ける予定である。</li> </ul> <p><u>4年生：総合的な学習の時間・音楽・体育</u></p> <p>「奏でよう75人のハーモニー」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・過去のオリンピック・パラリンピックのニュース映像などを視聴し、様々な音楽が使用されていることを学んだ。</li> <li>・体育で「東京五輪音頭」「パプリカ」の踊りとダンスに取り組ん</li> </ul>



だ。

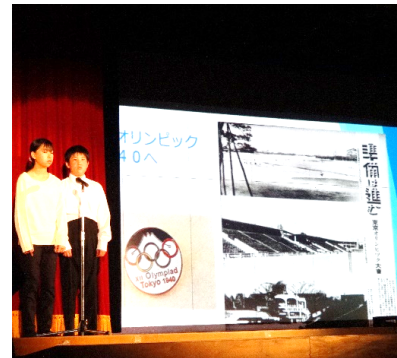
- 音楽でリコーダー演奏「サザンカ」、合奏「栄光の架け橋」、合唱「旅立ちの日に」に取り組んだ。
- 学芸会で発表した。



6年生：総合的な学習の時間

「オリンピックについて学芸会で紹介しよう」

- 東京オリンピック・パラリンピック開催までの、オリンピック・パラリンピックの歴史を調べた。
- 調べたことの中から、1964年の東京オリンピック開催に至るまでの歴史を、NHK 大河ドラマでも取り上げられた田畑政治に注目して劇にした。オリンピックそのものの歴史や、平和の祭典であるオリンピックが日本で開催されるまでの出来事の紹介を盛り込み、全校・保護者に向けて発表した。



- 学芸会後には、「オリンピックに携わった人」に注目して、個人追究を深めている。年度末には調べたことをまとめて、5年生に向けて発表する会をもつ予定である。

(1) ②

5年生：車いすバスケットボール教室

- ・事前学習で車いすバスケットボールについて学習した。
- ・行事 車いすバスケットボール教室  
TOYOTA U25 日本車いすバスケットボール選手権大会出場選手2名を講師に迎え、実際に競技用車いすを使用して、車いすバスケットボールを体験した。




3～6年生 オリンピアンに学ぶ会

- ・柔道男子60kg級の日本代表として、北京・ロンドンの2大会に出場し、ロンドンオリンピックでは銀メダルを獲得した平岡拓晃様（現在は筑波大学助教）を講師としてお迎えした。
- ・「失敗＝ダメじゃない」と題した講演と、柔道の技を見せていただくデモンストレーションを行った。
- ・オリンピック3連覇の野村選手を破って出場した北京大会では、まさかの1回戦負けを喫し、多くの批判を浴びたこと。しかし、そこからもう一度ロンドン大会でのメダル獲得を目指して努力したこと、ロンドン大会の表彰式での晴れやかな笑顔は、応援してくれた人だけでなく、批判してくれた人たちのおかげもあって今の自分があるという気持ちだったこと、失敗体験をすればそれが次の成功を生むわけではなく、失敗と向き合っこそ成功につながることを、力強く語っていただいた。





	 <p>・デモンストレーションでは、柔道経験者の教員が技を受けただけでなく、児童が技をかける体験もさせていただきました。</p>
6 主な成果	<p>・オリンピック・パラリンピックを題材として取り上げた学習をすることで、児童のオリンピック・パラリンピックに対する関心は徐々に高まっている。</p> <p>・特に、実際にオリンピックに出た選手から話を聞いたり、自分たちで車いすバスケットボールを体験したりという、外部の力を借りて行った活動が児童に与えるものは大きかった。ねらいとしていたスポーツに対する興味・関心の向上にとどまらず、人の生き方に触れ、人として学ぶことが多かった。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>〈3年生の感想より〉</p> <p>○私は今までしっばいは悪い感じに思っていたけど、平岡さんの話を聞いて、しっばいはダメじゃないということがわかりました。</p> <p>○私も失敗をおそれずに、いろいろなことにチャレンジしたり、あきらめずにがんばったりしたいなと思いました。</p> </div> <p>・4、6年生は学芸会という発表の場を設けたことで、学習したことを各学年から全校さらには保護者へと、発信し、広げていくことができた。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>〈保護者の感想より〉</p> <p>○正直言って、オリンピックの誘致の経緯については関心がなかったし、来年のオリンピックに向けていろいろなオリンピックものが放送されていますが、まったく見ていません。田畑政治なんて人は知らなかったし、阿部サダヲが演じている主人公の一人だったのねと後で知るレベルでした。なので、今回の6年生も流行りに走ったな程度の思いでした。が、私が浅はかでした。大変勉強になりました。一生懸命に勉強し、演じている6年生を見て感化されました。興味が湧き、私も調べました。(中略) 遅ればせながら、オリンピック熱が上がってきました。</p> </div>
7実践において工夫した点 (事業の特色)	<p>昨年度に引き続いてのオリンピック・パラリンピック教育推進校ということで、昨年度の反省の下、単発の行事だけで終わらないようにしたいとの考えから、総合的な学習の時間を活用して取り組んだ。</p> <p>行事については、TOYOTA U25 日本車いすバスケットボール選手権大会が地元で開催されたことや、オリンピック・パラリンピック教育推進校に認定されてオリンピック・パラリンピアン派遣プロジェクトに応募する機会を得たことで、素晴らしい講師</p>

	に来ていただき、会をもつことができた。
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主に総合的な学習の時間で学習を計画したが、相手意識や目的意識を明確にして取り組める、せっかくの機会であるので、例えば国語科で講師にお礼の手紙を書いたり、図画工作科でポスターを作成したりといった、教科横断的な学習も組み込んでいけるとよかった。</li> </ul>
9 来年度以降 の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度は、東京でオリンピック・パラリンピックが開催されるため、スポーツへの関心意欲の高まりや、オリンピック・パラリンピックそのものについての理解を深める機会は、学校で取り組むまでもなく、多くなることが予想される。そこで、来年度からは、オリンピックやパラリンピックに携わる人々に焦点をあてて、キャリア教育や道徳科の授業として、取り扱っていく予定である。</li> </ul>